

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 多摩市立諏訪小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒206-0024
東京都多摩市諏訪5丁目13番地

E-mail teramoto-hideo@city.tama.tokyo.jp

Website <http://schit.net/tama/essuwa/>

児童生徒数 男子 111名 女子 102名 合計 213名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

国語、社会科、理科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動、道徳、音楽、図画工作、体育、そして、食育、環境教育の教科・領域などにおいて、「身に付けさせたい力・態度」として次の3点を掲げ、取り組んだ。

- ・ものごとを思慮深く考え、判断する力。
- ・コミュニケーションを行う力。
- ・他者と協力する態度や他者とのつながりを尊重する態度。

【第1学年】⇒「音楽」音を合わせて楽しもう



楽器の練習に個人で取り組むだけではなく、友達の音と合わせる楽しさを味わわせることで、音色、リズム、速度など音楽を特徴付けている要素に自ら気付く機会を設けた。

【第2学年】⇒「生活科」昔遊び交流会



昔遊び名人を目指して練習を重ね、保護者や地域の方々に向けて発表会を行った。そのために、地域の方々を講師に招いて昔遊びを学ぶことで、地域の方々のコミュニケーションと図るきっかけにもなった。



【第3学年】⇒社会科「私たちの町の仕事」

市内で代々、農家を続けられている方の畑を訪ね、事前に進めた調べ学習において聞いたかったことをインタビューしたり、実際にみたりした。直接、農家の方からお話を聞くことで、農家の方の仕事に対する思いを体感することができ、地産地消の大切さも感じる事ができた。



【第4学年】⇒総合的な学習・体育「誰もが関わり合えるように」



日本ブラインドサッカー協会から選手をお招きし、ブラインドサッカーを体験したり、車いすテニスについてしらべたり、また、高齢者疑似体験をしたり点字体験をしたりと、誰もが関わり合えることを目指して体験したことや調べたことをまとめ、学習発表会において全校児童・保護者に発表した。

【第5学年】⇒総合的な学習・環境教育「稲を育てよう・収穫祭をしよう」



地域の方やJA農協の方々に協力していただき、学校の敷地内にミニ水田を設けて、稲を育てた。そして、自分たちで育てた稲を収穫し、収穫した米と普段食べている米とを食べ比べをする等して「食」について考える機会とした。



する等して「食」について考える機会とした。

【第6学年】⇒総合的な学習の時間「野菜バザーをしよう」



地域の方に協力していただきながら、自分たちで育てた野菜を夏及び冬に収穫し、永山駅前のスペースにおいて、バザーを実施した。実際に、自分たちが育てた野菜を地域の方々に売る活動を通して、販売という仕事を体験するとともに、野菜バザーを通して、呼び込みや商品・金銭の受け渡しにおいてお客さんと会話するなど、触れあう機会となった。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）